



せんこうはなび ひばな だ 線香花火はどうしてきれいな火花を出すの

ひばな せんこうはなび ぱっぱっと火花をとばす線香花火

なつ よる とも かぞく せんこうはなび あそ だの
夏の夜、友だちや家族と、線香花火で遊ぶのは楽しいものですね。

せんこうはなび もくたん せき つく
線香花火は、木炭、いおう、しょう石をそれぞれこなにして、まぜて作ってあります。

ひ あか ひ たま まつば ひばな と ち
火をつけると、赤い火の玉ができ、ここからぱっぱっと、松葉のような火花が飛び散ります。

ひばな もくたん 火花になるのは木炭

ひばな もくたん もくたん もくたん
ぱっぱっと火花になるのは、木炭のこなです。もえやすい木炭と、もえにくい木炭をまぜて作り、松葉のような火花を出すのは、もえにくい木炭のほうです。

ひばな でかた おお がち もくたん おお すく
火花の出方や大きさ、形などは、木炭のこなが多い、少ないできまります。

また、もえる温度の高い、低いでもちがってくるのです。

せき もくたん りょう ばしょ すこ
しょう石やいおう、木炭のこなや場所が少しずつちがうと、これらがもえるとき、あのようなさまざまな火花ができるのです。（監修 小川 格）

